



平成23年10月11日(火)

No.29

江戸川区立第六葛西小学校
校長 伊藤辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510
メールアドレス:kasei6s@EDOGAWAKU.ed.jp

本物に触れる

2学期は、社会科見学や生活科見学など実際のものに接したり、その場所に行ったりしての学習がたくさんあります。「百聞は一見に如かず」のことわざにあるように「本物に触れる」ということは何よりも学習効果があります。そのいくつかを紹介します。

音楽鑑賞会見学

9月28日(水)、「芸術鑑賞教室」が開かれました。今年は「音楽会」第11月に行われることもあって「音楽鑑賞教室」にすることにし、「水野与旨久マリンバとハープ・フルートのしらべ」を開催することになりました。

水野先生は、NHKをはじめ各放送局の音楽番組に数多く出演し、国内外で有名なマリンバ奏者で、江戸川区の「音楽鑑賞教室」に毎年講師としてお許を得ている方です。幸いにして本校の依頼を快く聞いていただけることになりました。水野先生だけでなく、ハープ、フルート、ピアノの各奏者も様々な音楽会や放送局



の番組に出演されている方々です。

演奏が始まると子供たちは体でリズムをとり、「ジブリメドレー」では一緒に歌い、「剣の舞」では片手に3本両手で6本のマリンバのバチを持ってのマリンバ演奏には子供たちは感嘆の声をあげていました。こうしたことを通じて音楽の好きな子供たちがいっぱい育つ



水野与旨久先生からのメッセージ

*後日水野与旨久先生から学校にメッセージが届きました

実際に嬉しいコンサートでございました。

子供たちは静かに聴くだけではなく、音、ことば一つ一つを感じとて「心」にとりいれてくださったようで、本当にうれしく、私どもの方こそ、大きな拍手を送りたいと思いました。

日ごろの諸先生方のご指導の賜物と敬服いたしております。心よりお礼申し上げます。難しい世の中と言われていますが、この生徒さんたちを知る限り将来は明るいとおもいました。

どの子もそれぞれの“自分の道”で幸せになってくれることを願い、祈りながらこれからも“音楽”に精進したいと思っています。

縦文時代のやり方で 火起こし体験に挑戦 5年生



5年生の社会科見学は、縦文時代の貝塚がそっくり完備されている加曾利貝塚とJFEスチールです。

広大な貝塚、縦文時代の住居など、今の生活へつながっている人間の生きる力と智慧を学びました。子供たちが感動したのは「火起こし体験」です。縦文時代に思いを馳せながら火起こしに挑戦です。みごと火がつくと「お～～～」と感動の声が。

JFEスチールでは真っ赤に燃えた厚さ26センチ、長さ10メートル、重さ

20トンもある鋼のかたまりが、またたく間に厚さ1ミリほどの板に変身です。これも子供たちにとっては大きな驚きと感動になりました。

小松菜・江戸風鈴 江戸川の歴史 3年生

江戸川区の成り立ち、小松菜農家の苦勞話や小松菜の由来、江戸時代に始まった「江戸風鈴」づくり、どの話も見学も初めてのことばかり、熱心に聞き入



10月は『縄跳び月間』です



「縄跳び月間」が始まりました。火・木曜日の20分休みには校庭で全校あげての縄跳びが展開されています。火曜日は、高学年が長縄跳び、低学年が短縄跳びに挑戦し、木曜日はその逆になっています。体育の時間に準備体操がわりに縄跳びを取り入れたり、めあてを決めてこの1か月取り組みます。跳ぶのに合わせての元気なかけ声が校庭にいっぱいに広がっています。おうちでも一緒にやって縄跳びに挑戦してください。「体力・運動能力向上」をめざす取り組みです。

トイレがきれいに

校舎の中央にあるトイレの改修工事が完了しました。とてもきれいなトイレに変身です。今週から使用開始です。



「防犯教室」5年

10月3日、5年生のセコム「防犯教室」が実施されました。犯罪から身を守る資質を身につけるために毎年学年ごとに行っているものです。

今年の防犯教室の最後は、12月の2年生です。また、学校に不審者が侵入した場合の「防犯避難訓練」も12月に葛西警察署の指導を受けて実施することになっています。

『あしづえ』掲載作文紹介

江戸川区教育委員会発行児童作文集

社会科見学

六葛西 三年 原 天馬

(現在四年生)

ぼくは社会科見学に行きました。

まずさいしょにフラワーロードを歩きました。フラワーロードではいろいろな店があり、歩道には花だんが二百い上ありました。フラワーロードは雨がふつても屋根があるからだいじょうぶでした。

次に行つたこまつな農家では、畑をたがやすトラクターやたねをまくたねまきや、水をあげるシャワーがありました。ぼくはこまつなたねをもらいました。家でたねをうめたので毎日水をあげています。早くこまつなができるまでです。そしてこまつなができたら早く食べたいです。

その次に名主屋しきに行きました。名主屋しきでは見たことがない昔に使っていた道具がいっぱいありました。いろいろはすごくあつかつたです。

「ぼくは昔の暮らしは今より楽じゃなかつたことが分かりました。あと、名主屋しきで知ったことは、

入り口にあるしきいと、たたみのへりはふんではないことを教えてもらいました。何でふんではないかは、しきいの板は家の全部の柱とつながっているから、その板をふんだらそのしきいがだんだん家がかたむくから、ふんではためと言つていました。

江戸風りんでは、風りんを作つて色をぬつていました。風りんを作る材料はガラスで、火の中に入れるとストローみたいなのにつけて団しながら息をはいてふくらましていくと風りんの形になりました。

その次に色をぬつっていました。色は風りんの中にぬつっていました。風りんを作るのも色をぬるのもすごく大へんなことが分かりました。江戸風りんの見学が終わつてから学校に帰りました。

はじめての社会科見学は楽しかつたです。また行きたいです。